

7月の家庭教育月間目標 おてつだいをしよう！

おてつだいは、ただの作業ではなく、子どもたちの内面をそっと支える力を育ててくれます。

お水を触ることが好きな子は「お野菜洗い」、並べるのが得意な子は「お箸配り」など、まずは興味のあることから始めてみましょう。最初は上手にできなくて当たり前です。大人が「一緒にやろうか」と寄り添うだけで、子どもたちは安心して挑戦できます。

お手伝いができたら、結果よりも「やろうとした気持ち」に目を向けて、「ありがとう」「がんばったね」の言葉をプレゼントしてあげてください。この夏休み、ぜひご家族で温かい時間をたくさん作ってみてくださいね。

1. 時間の使い方が上手になります

家事を手伝うときに順番を考えたり並行して何かをこなしたりする経験が、時間を上手に使ったりコントロールしたりする力につながります。

2. 自分に自信がつきます

家族や地域の方から声をかけられたり、感謝されほめられたりする機会が増え、自分が必要とされていると感じることができます。

3. 道徳観・正義感、自己肯定感が高まります

お手伝いをする中で、我慢したり自分を認めたりすることができるようになります。

(国立青少年教育振興機構「まなぶっく」参照)

な ら け ん り つ き ょ う い く け ん き ゅ う し ょ
奈良県立教育研究所

